

# 障害者等社会的困難(ニーズ)のある人の人権を考える第1回学習会

日時：8月26日(日) 13:30～16:30 会場：勤福センター

知って  
ましたか？



税金は、なんのために納入するのでしょうか？ それは私たちが、人間らしく生きていく上に困難が生じた時に、納めている税金を返してもらい、安心して暮らせるためです。これが「一人はみんなのため、みんなはひとりのため」を実現する社会保障です！

社会保障に必要な財源は「私たちの税金をどう使うか」を国会で論議して決まります。いま、政権与党は、毎年、社会保障費の予算を減らし、国民みんなの生活に大きな不安を与えています。人権が侵害されています！

## 協賛団体(話題提供団体)

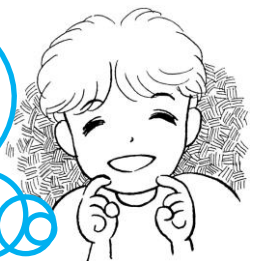
- 年金裁判を支援する会、
- 生保裁判を支援する会、
- 浅田達雄さんを支援する会

【会場図と講師紹介裏面に】



みんなで考え、学び合いましょう！

講師の井上英夫先生のお話「社会保障を守り発展させるためには？」や裁判で社会保障を守ろうと闘っている方々の話題提供はきっとみなさんに大きな励ましと元気をもたらすことでしょう！



主催 「岡山肢体障害者の会」  
共催 障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会、  
後援 岡山市、林友の会、きょうされん岡山支部

連絡先：吉田裕美(090-8246-4140)

## 講師紹介

会場：勤労者福祉センター5F大会議室

岡山市北区春日町 5-6 TEL. 086-233-8311

## 演題：「社会保障とはなにか？ 守り、発展させるには？」

井上 英夫先生の略歴（現 金沢大学名誉教授・佛教大学客員教授）

\*専門は社会保障法、福祉政策論、人権論。

\*1947年、埼玉県秩父市生まれ。早稲田大学法学研究科博士課程卒業、茨城大学を経て金沢大学、2013年3月退職。

\*厚労省ハンセン病問題検証会議・検討委員会委員長、日本社会保障法学会代表理事、最高裁判所ハンセン病「特別法廷」調査有識者委員会座長、金沢市障害者施策推進協議会会長、日本学術会議連携会員、生存権裁判支援全国連絡会会長など歴任。

\*現在、高齢期運動サポートセンター理事長、全国老人福祉問題研究会会長、いのちのとりで裁判全国アクション共同代表。

\*子ども、女性、障害のある人、ハンセン病患者、高齢者等の人権保障について

研究、活動。最近は、高齢者人権条約制定のため国連要請を重ね、大震災・原発事故と貧困の拡大・深化を契機に「住み続ける権

\*子ども、女性、障害のある人、ハンセン病患者、高齢者等の人権保障について研究、活動。最近は、高齢者人権条約制定のため国連要請を重ね大震災・原発事故と貧困の拡大・深化を契機に「住み続ける権利」の確立を提唱している。

### 編著書

『患者の言い分と健康権』新日本出版社（2009年）、『新たな福祉国家を展望する』旬報社（2011年）

『障害をもつ人々の社会参加と参政権』法律文化社（2011年）、『住み続ける権利』新日本出版社（2012年）

『代読裁判一声をなくした議員の闘い』法律文化社（2014年）、『なぜ母親は娘を手にかけてのか』旬報社（2016年）

『生きたかったー相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの』大月書店（2016年）

『社会保障レポリューションーいのちの砦・社会保障裁判』高菅出版（2017年）等

『生きたかったー相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの』大月書店（2016年）

『社会保障レポリューションーいのちの砦・社会保障裁判』高菅出版（2017年）

上記の2冊は当日会場で販売いたします。ご購入の程お願いいたします。



最寄り駅：東中央町駅[出口]から徒歩約5分